

## 七飯町海外交流研修報告書発行にあたって

コンコード町と七飯町は、1997年11月15日姉妹都市提携の調印を交わしてから今年で13周年を迎えました。

そして、この海外交流研修は今年度で16回目を迎え、10月11日から21日までの11日間、コンコード町に、総勢14名（中学生5名、高校生3名、引率教員1名、一般町民（企業後継者）3名、役場職員2名で訪問してまいりました。

現地では、ホームステイを体験させていただき、中高校生と引率教諭は毎日元気に学校へ通い、同世代の子供たちと仲良く生活し、米国の文化や習慣を学びながら七飯町の魅力を紹介し、姉妹都市交流の目的を十二分に達成してまいりました。



七飯町長 中宮 安一

また、第7代目の国際交流員に内定していたベンジャミン・ミリンさんが、現地にて訪問団とともに随行し中高生のサポートをしていただくなど重要な役割を果たしていただき心より感謝申し上げます。12月1日には正式に七飯町の国際交流員として就任し、現在では英会話講座の講師や七飯高校英語部での活動、両町の交流の架け橋になるなど積極的に仕事をしております。

一般町民代表の参加については、国際交流事業を七飯町の産業振興に役立てたいとの思いから、本年度は一昨年同様に企業後継者を対象に参加を募り、若手企業後継者の育成を図るため米国の経営事情や日本との類似点な、違いなど直接企業の経営者と意見交換をし、学んでもらうことを主眼に実施しました。

そのために、新たな研修プログラムを用意し、準備に汗を流していただいたコンコードのCCNN（コンコードカーライル・七飯ネットワーク）メンバーの皆様には、大変ご苦労をお掛けしたことに改めてお礼を申し上げます。

また、昨年4月にはコンコードカーライル高校コンサートバンドの生徒ら約100人の方が来町され、七飯町民に素晴らしい演奏を披露していただき、また、地元七飯高校とコンコードカーライル高校の姉妹校提携などこれまでの積み重ねてきた交流を更に深めていただけるものと思っております。

最後になりますが、本事業の実施にあたりまして様々な形でご協力くださいました各中学校並びに七飯高等学校、地域、家庭の皆様、そして、心温まる受入れをして下さったコンコード町の皆様に改めて厚くお礼申し上げます。